

怒れ！ジェンダーバイアス！



5 GENDER
EQUALITY



ようこそ!

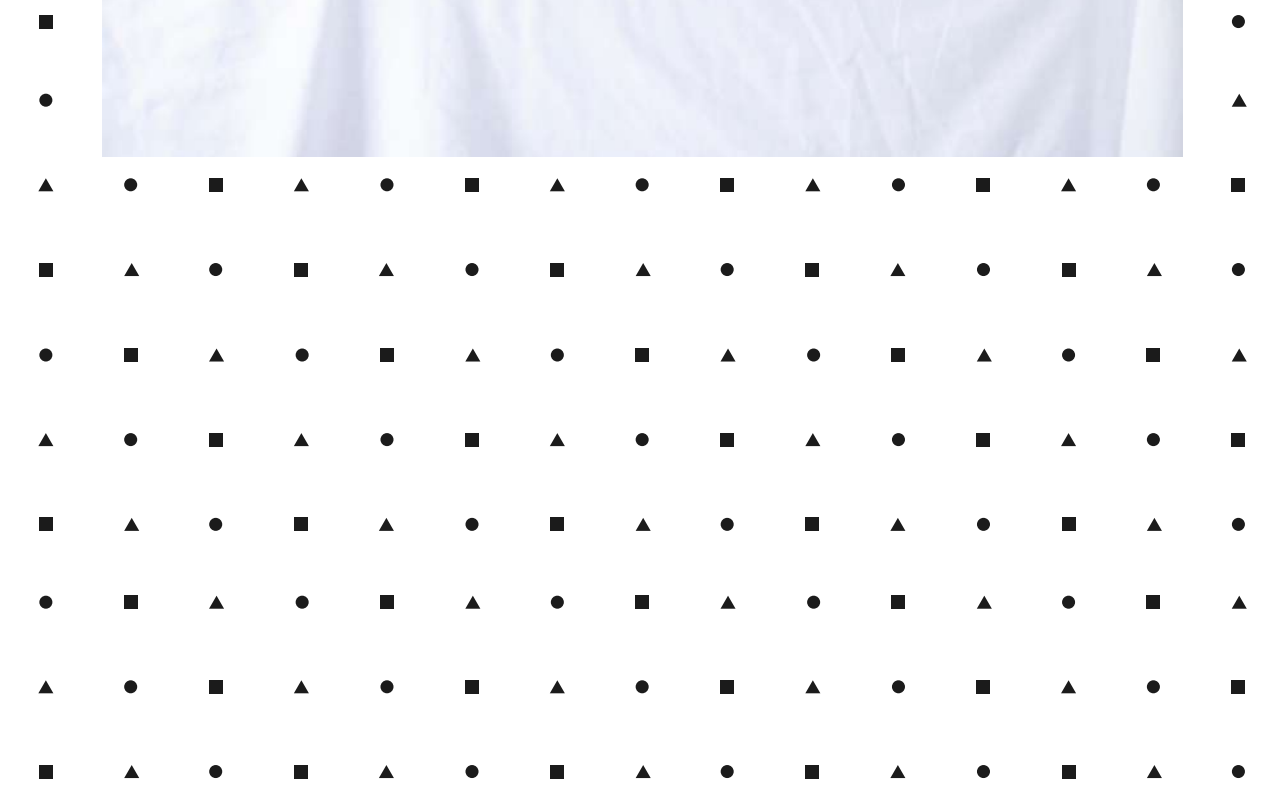
ジェンダー・バイアスの世界へ

自己紹介

大槻 佐智子（つっきー）

女性管理職のためのコミュニティ A lot of flowers

- ・ 幼少期、人形で遊ぶより公園で遊ぶ方が好き。
- ・ 小学生の時は女子とも男子とも遊んでいたが、中学生になると男女の身体能力差をまざまざと見せつけられ、女子で1番になっても学校で一番になれることはないと思ひ知る。
- ・ 高校生の頃は部活の方針をめぐって男子によく意見をしていた。
- ・ 大学ではチアリーダー部に入る。
- ・ 入った会社は女性は一般職、男性は総合職。同じ仕事をしてても、給料が違うという環境に馴染みすぎ、全く違和感を覚えない優秀な企業人となる。総合職に転換した時に、自由に力を発揮してもいいんだと思った。
- ・ 現在、兵庫県の男女共同参画センターで学ぶ機会を得て、ジェンダーギャップの奥深さに気付いた。



ジェンダー・バイアス

定義

男女の役割について固定的な観念を持つこと
社会の女性に対する評価や扱いが差別的であること
社会的・経済的実態に関する女性に対する神話
これらを指すと言われています。

例1

外で働くのは男性
家を支えるのは女性

例2

リーダーは男性
サポートは女性

例3

ゴミを捨てに行くのは男性
ゴミを分別するのは女性

育った環境から影響を受けます

父

家父長の考えが残る日本の田舎あるある。
祖父が長男、父も長男。

- 父のきょうだい・いとこ 男：7人 女：3人
- きょうだい・いとこ・はとこ 男：13人 女：4人

母

祖父はリベラルな考え方も、祖母が夫に尽くすタイプ。
母も似たようなところがある。

- 母のきょうだい 兄・母・弟
- きょうだい・いとこ 男：6人 女：1人

分かってきたこと

「男性を立てる」文化がある上で、
数の上でも男性が多ければ、
ジェンダー平等は遠く感じる

ワーク1

男性と女性 どちらの声が聞こえますか？

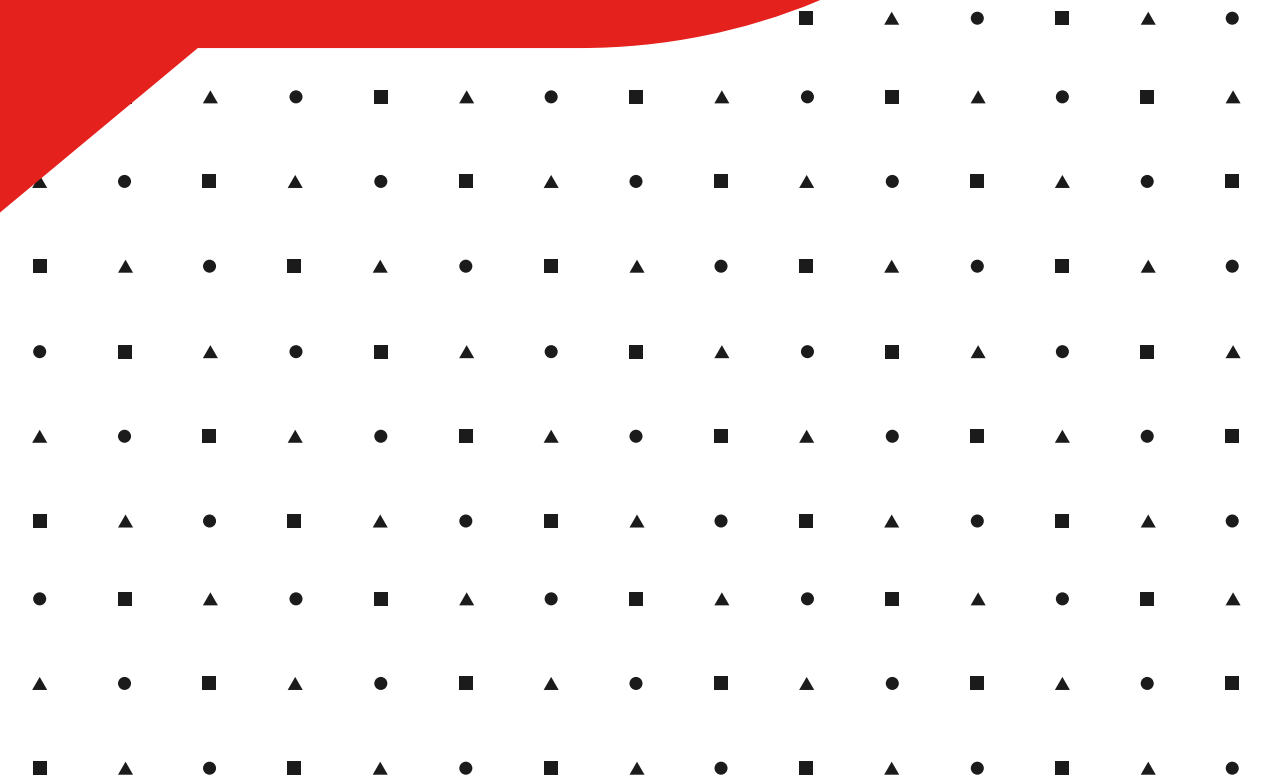
今から6枚のスライドを
数秒ずつお見せします。
直感で感じてください。

ワーク2

みんなの将来の夢は？



パイロット！



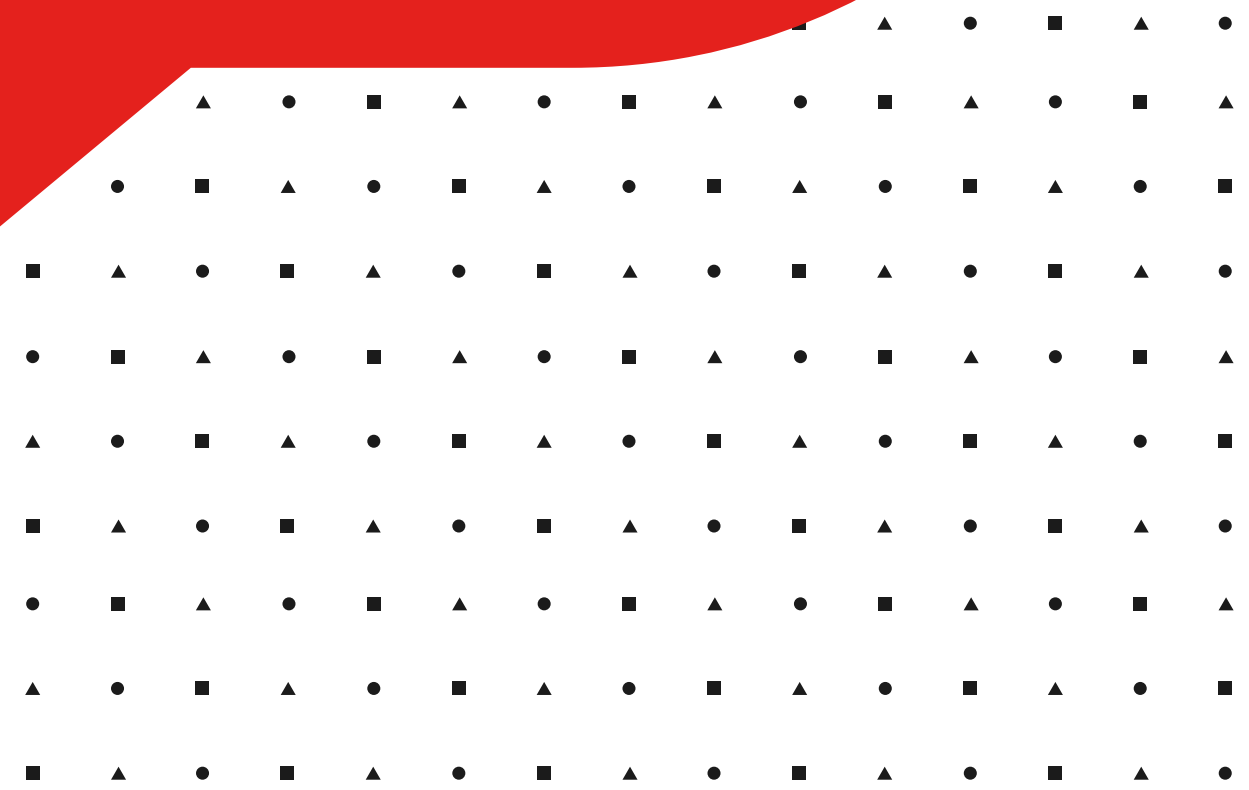
どれで遊ぶ？

ぬいぐるみで遊ぶ！！





電車が遅れてる。
これから大口の
商談なのに……

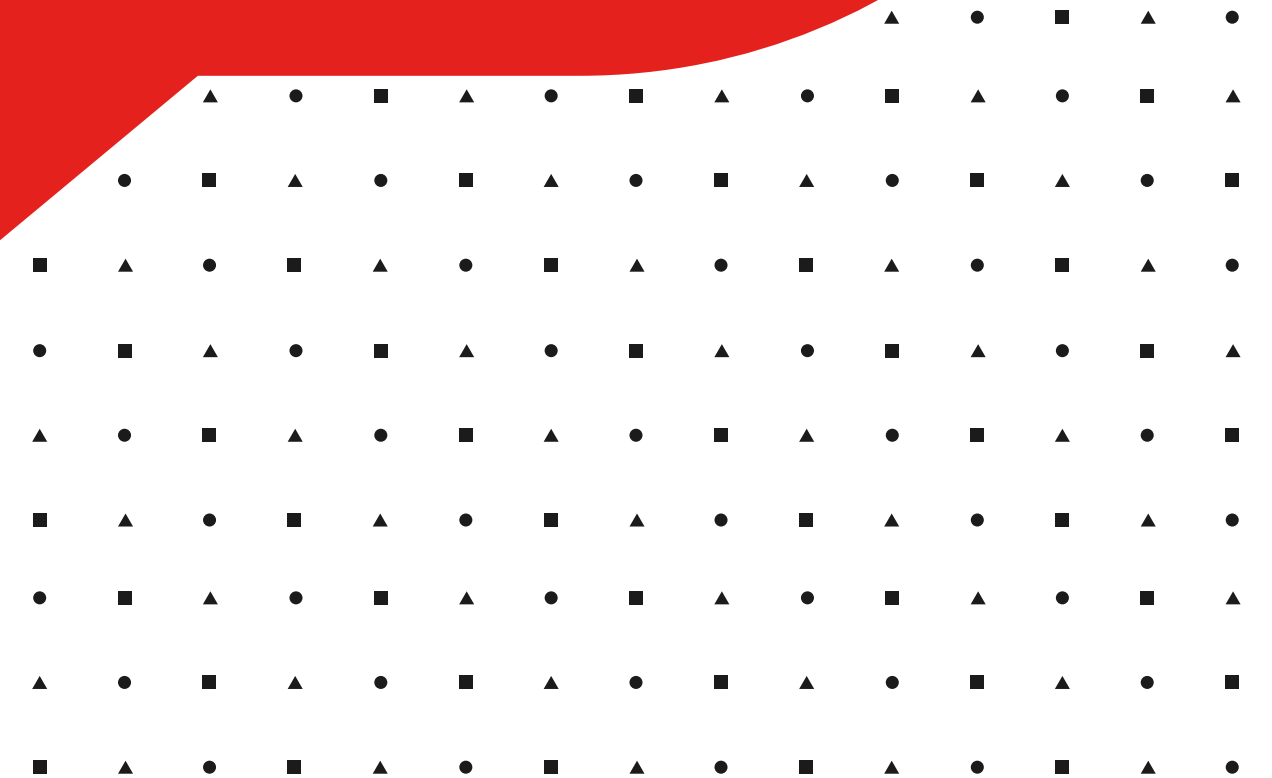


今日はトマトが安い！
ラッキー





親の介護があるので
退職します



危ないので
こちらに避難
してください！



私たちのミッション

**どちらの性別で聞こえても
問題ありません。**

**問題なのは、自分と異なる性別の
声で聞こえた人に対して
「違う!」「普通じゃない!」
と言ふ事です**

なんでジェンダーバイアスがあるの？ どうしたらいいの？

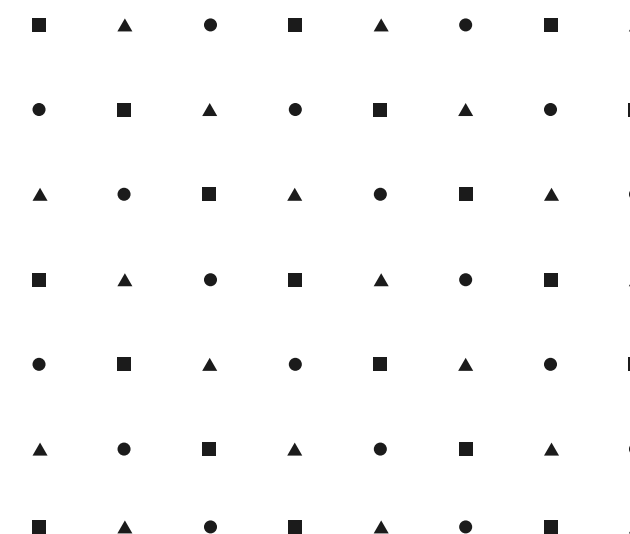
ちょっと哲学しましょ

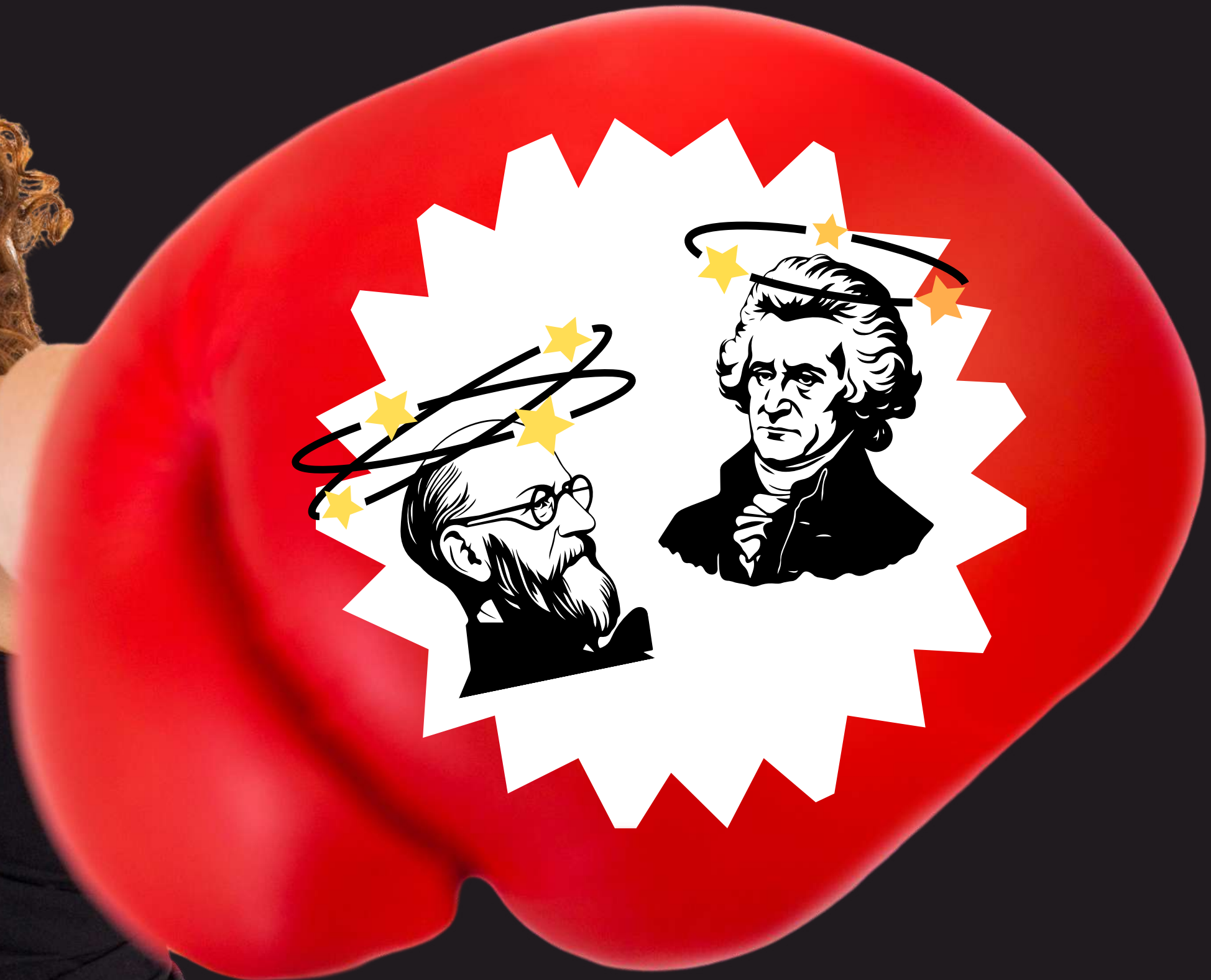
ルソー 18世紀のフランスの啓蒙思想家

女は思い込みの生き物であって、理性の生き物ではなく、服従の生き物であって、自由の生き物ではないとする。精神的な差異を導き出している女性は、際限りない、性的欲望を持ち、それを抑制することができない。逆に、男性は、統制のおかげで、この欲望を打ち、負かし消化させ、こうして統治することによって、政治的社会を作ることができる。

フロイト 心理学者・精神学者

女性的なマゾヒズムとは女のマゾヒズムではない。倒錯した男の症例しか検討していないフロイトにおけるマゾヒズムと女らしさの同一化は、一種の本質主義による女の本性、それ自体の中に女を受動性や服従や苦痛に満ちたセクシュアリティに運命づける何かがあるということだ。





マノン・ガルシア

女性が服従に同意するのは経済的、社会的、とりわけ政治的な諸条件のせいなのだから、この服従は終わる可能性がある。

結局のところ、服従は状況の果実である。服従は宿命として経験されることもあるが、だからといって本当に宿命であるわけではない事が理解できるようになる。

原則的に女の宿命であるとは思えなくなるよ
うなところまで、女たちは社会的状況を変化
させる事ができる。

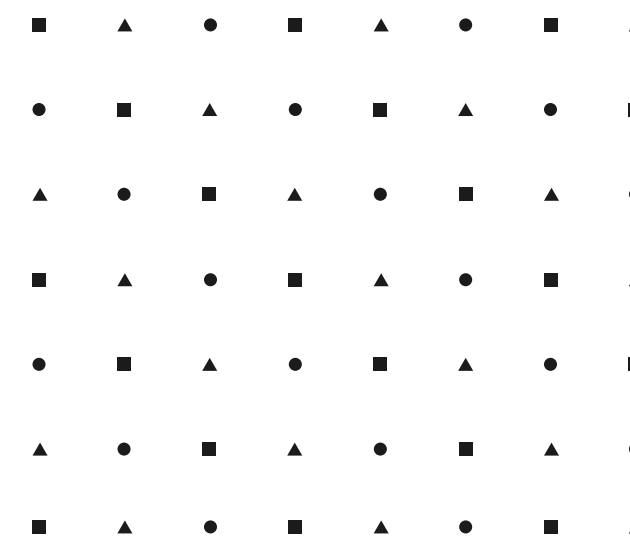


(すべての) 男が悪いわけではない

個々の男は女を服従させる行為を何も行っていない場合が多い。
女と同様に様々な意味や社会的規範が常にあらかじめそこにある世界の中に彼らは投げ出されている。

「したがって男は、自分では犯していない過失によって、意に反して有罪となり抑圧されている」

男性支配が男自身の自由までもを蝕む様を明らかにすることで、男女の協力の道を開き、家父長制の打倒へと向かう。



まわし私たちにできること

- 1 ジェンダー・バイアスを知る
- 2 ジェンダー・バイアスに気付く
- 3 声をあげる。少しずつ。戦略的に。



ワーク2

認知を変える

ワーク2

先ほどのスライドをもう一度お見せします。

男性・女性どちらの声に

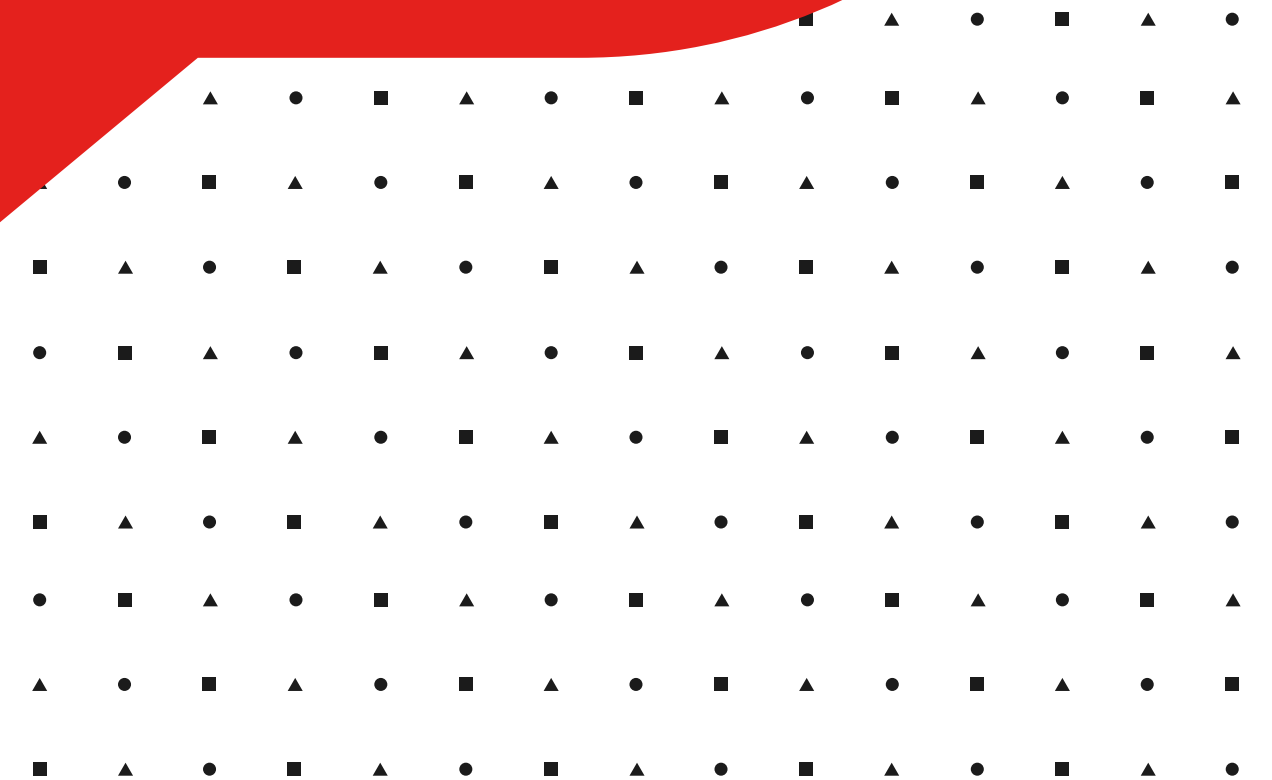
聞こえても違和感がなくなるまで

頭の中で繰り返しましょう

みんなの将来の夢は？



パイロット！



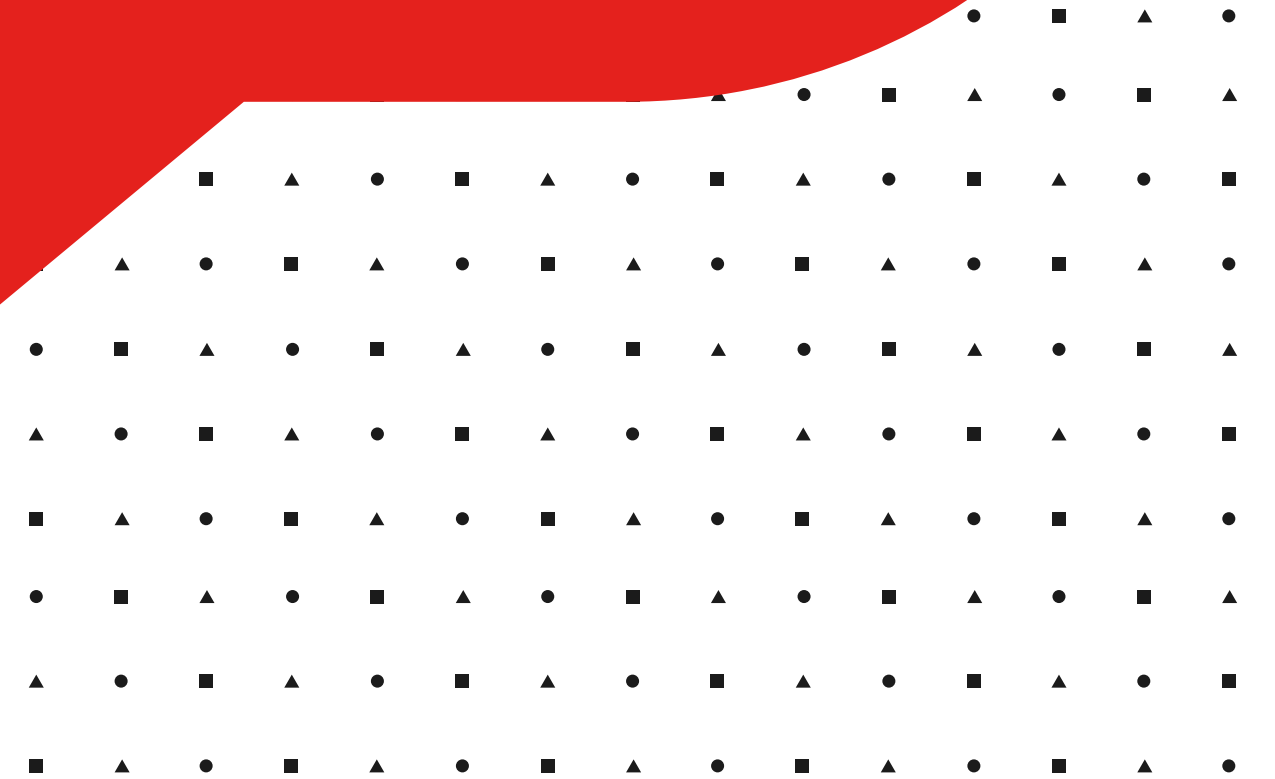
どれで遊ぶ？

ぬいぐるみで遊ぶ！！





電車が遅れてる。
これから大口の
商談なのに……



今日はトマトが安い！
ラッキー





親の介護があるので
退職します

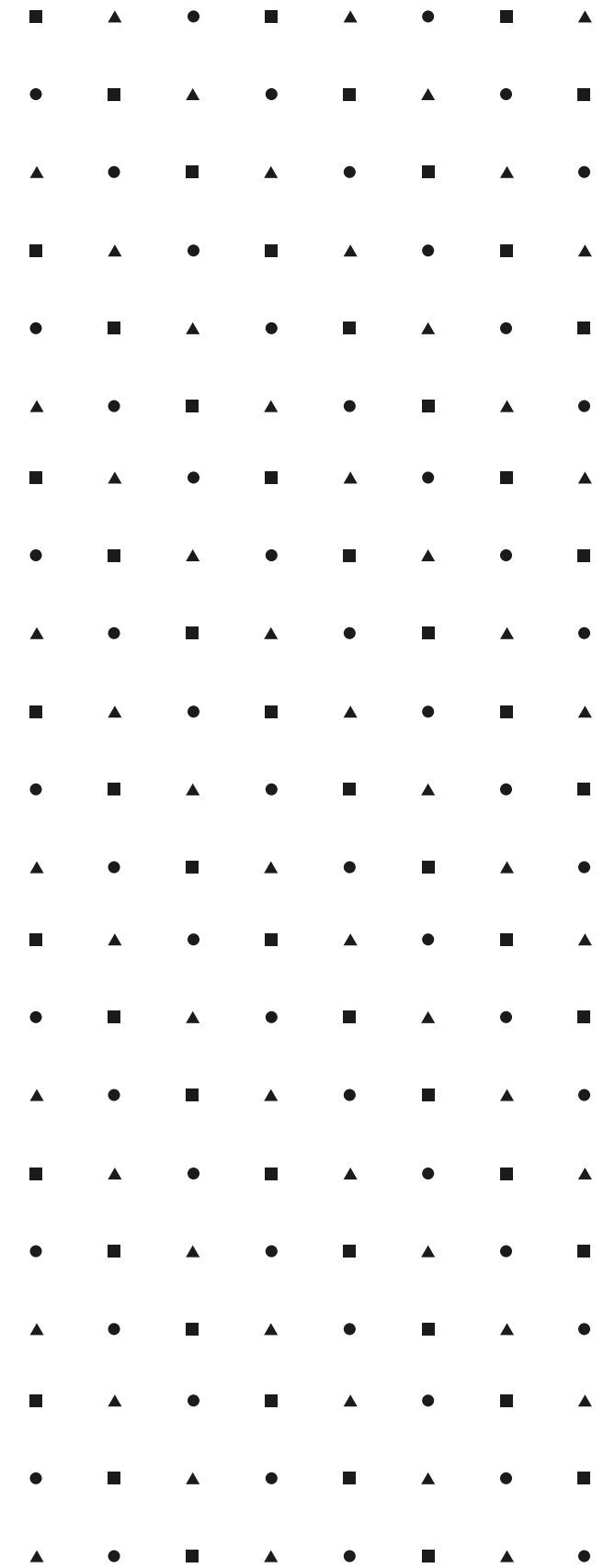


危ないので
こちらに避難
してください！

最後に

さて、両方の声を受け入れることができたか？
性別による違いがある中で、ジェンダー平等を実現することは簡単なことではないかもしれません。

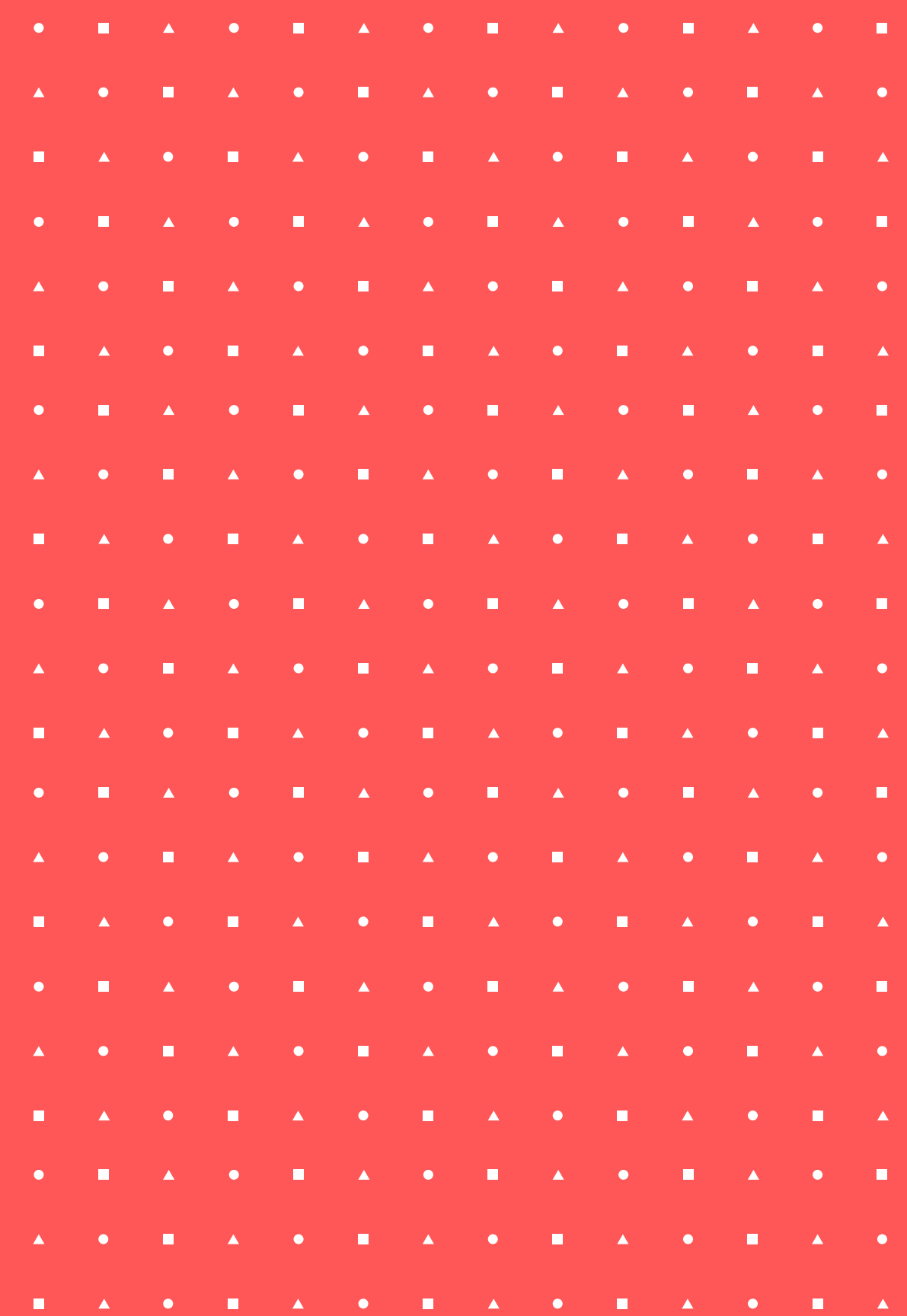
選択肢が多い世の中、性別も一つの個性だと捉え、
個々人が本当に好きな、本当にやりたい選択が、
障壁なく行える社会になるために、
自分にできることから始めてみませんか？



怒れ! ジェンダーバイアス!

ありがとう

ございました!



女性管理職のためのコミュニティ
A lot of flowers つつきー